

メインテーマ 「健康の公正性を目指して～病院と介護事業所の貢献～」
2024年11月6日(水)～8日(金) 広島国際会議場

プレナリー（全体会）演者のご紹介



カン・モヨル氏
(カトリック大学医学部・韓国)
Mo-Yeol Kang

韓国の労働衛生学の研究者で長時間労働の健康影響や労働者のメンタルヘルスの研究が専門です。医療労働は有害な作業環境に従事することや有害な物質を取り扱うことが避けられません。社会経済的に脆弱な立場に置かれた労働者がこうした好ましくない労働に従事せざるを得ないことが多いと指摘されています。講演では、医療従事者における健康の公正性の確保のために、組織（HPH）が実施すべき健康戦略について紹介します。

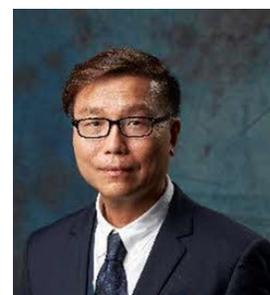
全体会2 11月7日(木) 9:00-10:30



ディーン・シリンガー氏
(カリフォルニア大学サンフランシスコ校・米国)
Dean-David Schillinger

プライマリケア医でカリフォルニア大学サンフランシスコ校（UCSF）の「健康格差に取り組む行動研究センター」の共同設立者です。サンフランシスコ市において世界初の砂糖入り飲料の警告ラベル法の成立に関わり、周辺化された人々の健康改善に対する貢献で高く評価されました。講演は、「共通の人間性を確立して組織のヘルスリテラシーを向上させる」のテーマで行われます。

全体会3 11月7日(木) 16:15-17:45



リー・ケンホック氏
(シン・ヘルスコミュニティー病院・シンガポール)
Kheng Hock Lee

シンガポールにおける社会的処方オピニオンリーダーです。講演では、世界で初めて社会的処方をケアモデルに体系的に組み込んだ Sing Health Community Hospitals (SCH) の経験が紹介されます。このプログラムでは、患者が健康の社会的決定要因についてスクリーニングされ、病院で治療中に医療処方と併せて社会的処方を共同で開発・開始されます。退院後も患者は地域のパートナーとつながり、社会的孤立や支援サービスへのアクセス不足などの問題に取り組むために社会的処方の計画が継続されます。

全体会3 11月7日(木) 16:15-17:45

早期参加登録は9月30日まで延長

早期参加登録：9月30日までの参加登録と振込

後期参加登録：9月30日以降の登録と振込

日本からの参加者は、第30回国際 HPH カンファレンス日本組織委員会からの補助金により参加費が割引されています。

早期参加登録の延長はありませんので、期間中に登録を完了いただきますようお願いいたします。

<https://kitos-001.jp/inter-confer-hph/Entry/RegTop.aspx>

第30回国際カンファレンス・プレ企画

「医療団体、医療機関のヘルスプロモーション活動
～健康の公正性への貢献～」

日時：2024年9月21日(土) 13:30～17:10

会場：順天堂大学国際教養学部 第3教育棟

参加費：無料／定員：100名程度（要事前申込）

https://www.hphnet.jp/ihcjoc_news/18466

パラレルセッションのご紹介

各時間帯に様々なテーマの分散会が開催されます。

日本からシンポジウム企画として提案され採択された「戦争で破壊される健康－最高の処方箋は平和」をご紹介します。このシンポジウムのねらいは、「戦争は健康の最悪の社会的決定要因（SDH）であり、人間の生命と健康を破壊します。命を救うことが医療の責任であるならば、戦争を防ぐことは、紛争中の国を含む世界中の医療従事者にとって不可欠な仕事の一つです。平和のために医師と病院は何ができるでしょうか?」という問いを議論することです。ウクライナへの侵略、ガザでの虐殺、広島の被爆などの被害の報告を聞き、平和教育、憲法を守るアドボケートをどのように展開するかについても議論されます。

パラレルセッション1 11月7日(木) 11:00-12:30

パラレルセッション2 11月7日(木) 14:25-15:45

パラレルセッション3 11月8日(金) 10:45-12:15

パラレルセッション4 11月8日(金) 14:10-15:30